

子どもとメディア 北海道

子どもとメディア 北海道

第38号
2019年
10月発行
今期第2号

発行が遅くなり
すみません。

「子どもとメディア北海道 研修交流会」を、古野氏をゲストに
9月20日、札幌(エルプラザ)で行いました。

- ★ 前号で紹介しました通り、9月19日に北広島市で、「NPO子どもとメディア」の古野氏が講師の講演会が開催されました。その講演会に乗じて、20日午前札幌のエルプラザで、「2019年子どもとメディア北海道研修交流会」を開催しました。会員が13名参加してくれました。エルプラザの会場や備品の予約を会員の菊地さんが担って下さいました。ありがとうございます。
- ★ 諏訪代表から「北海道の子どもと電子メディアの使用」についての講話と、古野さんから「国等がすすめる子どもへのICT教育」などについて報告してもらい意見交換をしました。
- ★ 諏訪先生には、ご自身が依頼を受けた幼稚園・小学校・中学校にアンケートの協力をお願いして、その結果をまとめてきたデータをもとに、「北海道の子どもの実態」を丁寧にご講話いただきました。
諏訪先生の話の初めて聞く会員も多かったのですが、具体的なデータに基づく実態に改めて危機感を感じ、小児科医としての医学的なデータに裏付けられた講話の内容に、たくさんの学びを得ていました。
- ★ 私個人としては、諏訪代表が講演や授業の依頼を受けた際にアンケートへの協力を求めたりその結果をきちんと集計して蓄積されておられることに尊敬の念が沸きました。今回は、インストラクター以外の方の参加もあり、会の目的を確認できた充実した時間となりました。
今後も、年に1回でもいいから、「子どもとメディア北海道」としての研修交流会を続けていきたいと強く思いました。



【古野さんの講話から】

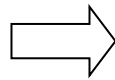
〜〜ナカヤのメモより一部抜粋です。〜〜

★経産省が主導の「EdTech」（教育と技術を掛け合わせた造語）について

- ・日本の教育は他国に比べて遅れている！
- ・これでは、AI（人工知能）時代に対応できない！

企業の危機感
「使える人材がない」

そこで・・・



【未来の教室ビジョン】

- * 学びのSTEAM化
- * 学びの自立化・個別最適化
- * 新しい学習基盤の整備

★ 『知識（教科学習）は、ICT（EdTech）を使って時間を短縮し効率よく学び、探求・プロジェクト型学習（PBL）の時間を捻出する』という考えへの懸念

- ・このように学習効率を高めるほど、脳の処理能力の差が顕著になって格差が広がる。
- ・学習者一人一人の個性の違いや細やかな対応が不足する。

★ 『幼児期から学習計画を策定し蓄積した学習ログをもとに個別に計画を修正する』という考えへの危機感。

- ・大人が望む目標に向けた「子どもの生産システム」になる「危険」
- ・教育の原理である「子どもの自立化・自己決定」を否定する考えではないか。
- ・幼児に対する「未来の教室事業」の事例を見ると、子どもの発達段階を無視したものである。

★ 最も浅はかと思わざるを得ないのは、「ICT・AIを導入することが、山積する子どもの育ちや教育の課題を解決するのに必須だと考えていること」だ！！（by陽一）

* この内容について、古野さんが情報誌「子どもとメディアVol.40」で、くわしく執筆されているので、会員さんには添付しますね。

* この1年、道内の学校に出向いた時に「加速したICT教育の推進・とにかくタブレットを！プログラミングの教材を！」という雰囲気を感じていました。それが、経済界の要請を非常に強く受けての国をあげての教育方針にあげられたからだったということをお古野さんに教えていただきました。

* 「国を挙げて！！」ととらえると、無力感に苛まれますが、一方でWHOのゲーム依存症の疾病認定や、電子機器の近視・睡眠などへの悪影響が世界的に取り上げられている一面も感じられます。

* 今回の研修交流会では、諏訪先生の「子どもの成長発達への影響」という原理原則的な視点と、古野さんの社会状況を見据えて頭に入れておく、という両面を学ぶことができました。

古野さん、参加して下さった皆様、ありがとうございました。

令和元年9月3日、北広島市第1住区地区社会福祉委員会の

「厚真町におけるアウトメディア運動」視察研修を終えて 北広島市 三國勝美さん

♡ 人権擁護委員として長年地域に貢献されてきた三國さん。数年前に「子どもとメディア」の話を聞いてくれて関心を持ち、昨秋インストラクターの資格をとられました。「できることから取り組みたい」と、人権擁護委員としての中高生の講話の中にメディアの話も組み込んで講演されていました。今回はさらに、地域の大人に学びの機会と市議とのネットワークづくりなど、自然体で大きなムーブメントを起こされています。

「厚真町におけるアウトメディア運動の取り組み事例」について、厚真町教育委員会の横山さんと桜井さんに丁寧に具体的なお話していただきました。ありがとうございました。

さて、最初に「第1住区地区社会福祉委員会」って？

北広島団地の第1住区地区（北広島駅の西側、約1800戸）の、高齢者福祉や見守り活動を30年以上続けてきた、高齢者が主体のボランティア団体です。

では、なぜ、社会福祉委員会が「アウトメディア運動」に舵をきったのか。

近年、この地域は徐々に世代交代が進み、若い世代の子どもたちが増えてきたことから、これまでの高齢者福祉や見守りを継続しながら、近年、急速に進む電子メディアの様々な影響から「未来を担う子どもたち」を守り健全に育つように「地域のアウトメディア運動」の機運づくりに取り組むこととなりました。

また、アウトメディア運動を市の政策として具現化するために、地域の市議会議員3名にも声掛けし、研修会に参加していただきました。

今回の参加者は35名で、普段「アウトメディア」という言葉とは無縁な生活をしている高齢者ばかりでしたが、厚真町の組織的な取り組みと、アウトメディア運動について説明して頂いた横山さんと桜井さんの熱意と行動力に感銘を受け帰ってきました。

参加者は「異口同音」に今回の研修は大変有意義であったと感想を述べています。

北広島市のアウトメディアに向けた取り組みは、一昨年開催された古野さん（NPO 子どもとメディア）の講演会に始まり、今年も古野さんを講師に招き、9月19日、市役所の「子ども家庭課」が子育て支援に関わる人達（保育士、幼稚園教諭、子ども発達支援センター職員等100名程）の研修会を開催しました。

また、この研修会には中谷さん他8名の子どもとメディア認定インストラクター（北海道）の方々も参加されました。遠くは、帯広・芽室からも来ていただきました。

このように、北広島市では子育て支援に関わる人達が、遅ればせながらアウトメディアに興味を持ち始めたところです。

そこで、全市的な取り組みとするためには、市議会を巻き込み、北広島市が制定した「子どもの権利条例」の事業推進計画に明確に位置づける必要があります。

この事業推進計画を見直し、新たに「アウトメディア運動」を盛り込むためには、市議会と地域が一体となり具体的な取り組みを促す必要があります。

今回の研修に参加した市議会議員の2人は、早速9月19日の議会において、子どもとメディアの関連施策について、北広島市の取り組みの現状や今後に向けた方策などについて質問し問題提起しました。

今後は、厚真町のアウトメディアに向けた取組事例を参考とさせて頂くとともに、市議会議員との勉強会を開催し、私たちと議会が共に高め合いながら取り組みを進めたいと考えています。

緒に付いたばかりの北広島からの報告です。

インストラクター 活動報告



中塚 美由紀さん(札幌在住)

★ 清田区主任児童委員連絡会主催 子育て応援講演会

スマホ、タブレットなどの使用が子どもの心や身体に与える影響について、外遊びの大切さ、画面ではなくリアルに触れること、たくさんの言葉のシャワーを浴びてほしいことなどお話ししました。乳幼児の保護者向けの講演でしたが、子育てサロンに関わる方やお孫さんのために聞きに来てくださった方もいらっしゃいました。

10 か月のお子様のお母さまから「ファミレスなどで子どもをスマホであやしてる姿はよく見るけれど、ほかに何かを使ってるのをあまり見ない。昔の人は、何を使って泣き止ましてたの？」9歳のお孫さんを持つおばあさまからは、「小さい画面でゲームするよりはいいかと思って大きいモニターを買ってあげたけれど、ブルーライトや視力への影響は大丈夫？」という質問がありました。

他に、「スマホで遊ばせることはよくないかもと思っていたけど、視力や睡眠への影響など具体的に聞いて気を付けようと思った。」「自分自身使いすぎてるかもと不安になった。」という感想をいただきました。

★ まなびやカフェあけぼの分校給食室

この度、お話しできる機会を探して、札幌の家庭教育学級の講師登録をしました。今回は講師体験交流会ということで、20分間の講座でした。ネット依存、ゲーム障害、目と睡眠への影響、学力への影響をお話ししました。参加者には幼稚園、小学生、高校生の保護者の方がいて、それぞれにスマホ、ゲームの使用が気になっていたようです。

皆さんに、スクリーンタイムでご自身の使用時間をチェックしてもらいました。こんなに??と驚く方も。スマホやゲームの使用がなぜ心配なのか具体的に分かれると子どもとも話し合いやすい、もっと知りたいという言葉をいただきました。

♡ 「家庭教育学級の講師登録」をいうのは、他の仕組みでも聞いたことがありますが、「講師体験交流会」というのは初耳でした。なるほど、そこに参加することで、自分の実践研修にもなりますし、聴いてくれた方にも伝わり、講師としてのPRになりますよね。いろいろな機会を上手くとらえて爽やかに挑戦される中塚さん、素敵です。

岸 春江 さん(札幌在住)

- ★ 絵本や読書の大切さについての依頼が基本ですが、子育てにおける電子メディアの影響も必ずお話しています。毎回終わった後に様々なアンケートの結果を頂きます。そこには具体的なデータで示した体と脳への影響に驚かされている様子が書かれています。



0~2歳の保護者の方へお話しした8/22と、小学生の保護者の方へお話しした10/10のアンケート結果を添付しますね。【添付していただいた感想から、ナカヤが一部抜粋して以下に紹介します】

- ・本の読み方(声の大きさ、間、抑揚など)をまねてみようと思いました。テレビを(教育テレビ)一日中つけていたので気を付けて、たくさん抱っこしようと思いました。
- ・スマホ、メディアについてのお話が聴けて大変良かったです。小3の娘の周りの子がスマホデビューしているので、少し影響されがちでしたが、まだいりませんね。
- ・日常で家事をしたいときにテレビを見せたりスマホを見せることが多かったけど、今日から少しずつ減らしていければと思った。絵本をもっと読んでたくさんコミュニケーションをとりたいです。
- ・スマホやゲームの時間が少しずつ長くなってきていて心配でした。子どもと本に触れる時間を増やしたいと思います。
- ・スマホと脳の関係は知っていましたが、ゲームの現状がこれほど深刻だとは知りませんでした。親の知識不足は対応への遅延につながると思いましたので、情報を集めたいと思います。
- ・4年生の長男はYouTubeを好きで、長時間見るが多かったなので、長男とともにこのセミナーの資料を見直してみようと思いました。

♥ 札幌の菊地さんが、マザースペースミーナ主催で、積極的に「子どもとメディア」のインストラクターを活用して講座を実施してくれています。

(9月16日には櫻井さん、11月5日には中谷)で、その際、岸さんが自分の研修もかねて、受付や会場準備等の手伝いをされているのです。

インストラクター同士の交流や学び合い、協力関係もみられて、素晴らしいなあと感じています。私も今でもそうなのですが、誰かの話を聞くと、必ず何か学びをいただけます。これからも、自然体でのインストラクター同士の化学反応!!楽しみですね。

2019年8月から10月までの活動報告 (41件)

月 日	テーマ・内容	行事名・主催者等	担当
8月 19日	「幼児・生活・メディア」について	広島幼稚園の先生対象	三國
22日	絵本と子育て～電子メディアについて	札幌市ひがし区子育て支援主催	岸
23日	電子メディアと子どもたち～これからの社会に育ちゆく子どもたちのために大人ができること～	全国大学音楽教育学会 第35回全国大会	諏訪
25日・26日	根室管内PTA研修会・乳幼児学級 野付小学校児童向け	別海教育委員会	中谷
27日	子育て支援センター 羅臼・小学校児童向け	羅臼町教育委員会	
9月 3日	本ってどうなの？スマホってどうなの？	札幌市山の手南小学校 開放図書 &家庭教育学級主催	岸
5日	乳幼児保護者向け	苫小牧市男女平等参画支援センター	中谷
8日	遊びのヒント～子どもに合わせたおもちゃ選びのコツ～	留萌地区 保育士会 研修会	菊地
10日	小中学校教員向け研修会	苫小牧市教育研究所	中谷
12日	0～6歳「聴く♪動く♪歌う♪絵本よみきかせ」	ポップスプーンプレゼンツ(札幌)	岸
16日	小学生の未来を守る電子メディア講座	マザーズスペースミーナ子育て講座 (札幌)	櫻井
18日	乳幼児親向け	帯広しづれいおん十勝	中谷
	教育・子育て支援関係者・保護者	大樹町	
	音更町鈴蘭小学校PTA	音更町	
19日	遊びのヒントおもちゃの選び方・遊び方	岩見沢市教育委員会家庭教育指導者育成講座	菊地
20日	絵本がどのように子どもの発達に役立つのか	浦臼町営保育園主催	岸
24日	スマホやゲームといった電子メディアが子ども達に与える影響について知ろう	永山小学校PTA研修会 (旭川)	諏訪
	萩野小学校就学時検診講話(白老町)		中谷
28日	乳幼児親向け	育児サークルたたらん(名寄市)	中谷
29日	興部町PTA研修会	興部町	
30日	黒松内小就学時検診時講話	黒松内町教育委員会	
10月 1日	白老中学校区保護者向け	白老町学校運営協議会	
4日	養護教諭向け	胆振管内養護教諭研修会(伊達)	

7日	遊びで育むライフスキル コミュニケーションを深めるアナログゲーム	せいめいのもりこども園家庭教育学級 (札幌)	菊地
10日	ネット社会に生きる子どもたちのために～学校・家庭・地域に求められる役割	留萌管内主任児童委員研修会	諏訪
10日	本ってどうなの？スマホってどうなの？	札幌市幌西小学校 開放図書館主催	岸
14日	子どもの発達と電子メディアの影響について	日高町教育委員会社会教育課主催。就学時検診時講話	野澤
16日	スマホに子守りをさせないで～画面機器が乳幼児に及ぼす影響と現状～	清田区主任児童委員連絡会主催 子育て応援講演会(札幌)	中塚
	分科会 アナログゲーム研修	北海道地域学校協働活動推進協議会兼コーディネーター等研修会	菊地
17日	ニューママ アウトメディア講座	厚南子育て支援センター	櫻井
18日	後志管内社会教育委員研修会	蘭越町教育委員会	中谷
	乳幼児保護者・保育士向け	倶知安くっちゃん保育所ぬくぬく	
23日	子どもの発達への電子メディアの影響	ファミリーサポートセンター子育て支援者養成講座	諏訪
	情報モラル教室	厚真町厚南中学校	櫻井
	寿都小学校児童向け・教諭向け・CS関係者向け・就学時検診	寿都町教育委員会	中谷
24日	札幌市講師体験交流	まなびやカフェあけぼの分校給食室	中塚
	ニューママ アウトメディア講座	厚真子育て支援センター	櫻井
28日	子育てを楽しむために	奥尻町 KOSODATE 住民検討会	菊地
29日	電子メディアの危険性～大人も知っておきたい注意点～	愛別町教育委員会 青少年育成研修の集い	諏訪
	読書の大切さについて	札幌市新光小学校家庭教育学級	岸
	アナログゲーム研修会	室蘭子ども劇場	菊地
30日	はまっちゃうかも？アナログゲーム	恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業 チーム SOU	菊地

- ★ 今年の夏前に、NPO法人子どもとメディアより、『WHO総会における「ゲーム障害」の疾病認定を受けて、国に提言書を提出する』提出文が発案され、「子どもとメディア全国ネットワーク」も賛同団体として名を連ねていました。選挙が終わり、9月20日に、NPO法人代表の清川氏と日本小児科医会の内海氏が、文科省と厚労省の新大臣と面会して、「提言書」を提出されました。会員には添付しますので、ぜひお読みください。
- ★ 前号でも紹介しましたが、2年に1度開催される「子どもとメディア全国フォーラム」のチラシが届きましたので、会員の方に添付しますね。今のところ、会員では2名の参加を把握していますが、もし参加される方がいらしたら、ナカヤにも一報くださいませ。
- ★ 会員さんではないのですが、以前講演を聞いてくれた十勝管内の方が「ぜひ読んでみてください」と冊子『THE BIG ISSUE Vol369』が送られてきました。特集が「スマホの誘惑」で、記事は子どもへの影響が中心にとっても読み応えのある内容です。こちらも会員には添付しますね。